

Ⅱ 主な事業別の状況

1 上水道事業

(1) 施設及び業務の状況

決算調査の対象となったのは、27事業（前年度29事業）である。年間総配水量は対前年度比0.4%増の143024.15千㎡であり、給水人口は対前年度比0.9%減の129万7千人となっている。これを行政区域内人口に対する普及率でみると94.6%、計画給水人口に対する普及率でみると、85.0%となっている。また、有収率は87.3%で前年度より0.1ポイント増となっている。有収率を規模別にみると、給水人口15万人以上の団体（3団体）が89.3%で最も高い有収率となっている。〔第9表〕

第9表 施設及び業務概要

（単位：人、％）

項 目	規 模 別					
	15 万 人 以 上	5 万 人 以 上 15 万 人 未 満	3 万 人 以 上 5 万 人 未 満	1.5 万人以上 3 万 人 未 満	1.5 万人未満	合 計
行政区域内人口（A）	831,838	190,431	119,790	67,794	160,767	1,370,620
計 画 給 水 人 口（B）	929,799	217,253	119,380	64,785	194,437	1,525,654
現 在 給 水 人 口（C）	809,010	179,329	109,007	60,407	139,218	1,296,971
行政区域内人口に対する普及率（C）／（A）	97.3	94.2	91.0	89.1	86.6	94.6
計画給水人口に対する普及率（C）／（B）	87.0	82.5	91.3	93.2	71.6	85.0
有 収 率	89.3	86.8	83.7	87.7	79.8	87.3

（注）用水供給事業を除く。

(2) 収益的収支の状況

総収益対総費用比率は113.3%で、前年度に比べ2.6ポイント増となっており、収益費用別では総収益が0.1%増、また総費用が2.2%減となっている。

単年度収支では、純損失を生じた事業が1事業（前年度1事業）となっており、金額的にも343万8千円（前年度963万8千円）と赤字が減となっている。

累積欠損金は3億7,731万4千円で、前年度5億4,053万3千円より1億6,321万9千円（30.2%）の減となっている。〔第10表〕

第10表 決算状況の推移

(単位：千円、%)

年 度 項 目		18 年 度	19 年 度	20 年 度	21 年 度	22 年 度	増 減 率 (22/21)
総 収 益		33,051,642	32,632,796	32,097,906	31,984,578	32,032,110	0.1
う ち 営 業 収 益 (A)		30,963,039	30,870,383	30,271,214	30,276,783	30,420,512	0.0
総 費 用		31,324,619	30,928,216	29,605,940	28,893,296	28,262,091	△ 2.2
純 利 益		1,829,061	2,005,866	2,518,111	3,100,920	3,773,457	21.7
純 損 失 (B)		102,038	301,286	26,145	9,638	3,438	△ 64.3
累 積 欠 損 金 (C)		790,110	717,018	634,533	540,533	377,314	△ 30.2
不 良 債 務 額 (D)				31,444	49,685	37,867	△ 23.8
赤字額 等の営業 収益に 対する 割合	(B) / (A)	0.3	1.0	0.1			
	(C) / (A)	2.6	2.3	2.1	1.8	1.2	
	(D) / (A)			0.1	0.2	0.1	
事 業 数 (E)		29	29	29	29	27	△ 6.9
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 (F)		7	5	2	1	1	0.0
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 (G)		11	8	4	4	3	△ 25.0
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 (H)				1	1	1	0.0
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 の 割 合 (F) / (E)		24.1	17.2	6.9	3.4	3.7	
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 の 割 合 (G) / (E)		37.9	27.6	13.8	13.8	11.1	
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 の 割 合 (H) / (E)				3.4	3.4	3.7	
総 収 益 対 総 費 用 比 率		105.5	105.5	108.4	110.7	113.3	

(注) うち営業収益 (A) は受託工事収益を除く。

（３）資本的収支の状況

資本的収入は、72億3,667万8千円で、前年度134億1,817万7千円より46.1%減少し、資本的支出は202億6,090万4千円で、前年度265億8,611万6千円より23.8%減となっている。

資本的収入の財源のうち企業債が45億3,200万円で、前年度80億1,630万円より43.5%減少し、内部資金等の補てん財源は対前年度比0.9%減の130億170万5千円（前年度131億1,825万4千円）となっている。〔第11表〕

第11表 資本的収支の状況

（単位：千円、％）

区 分 項 目		金 額		増 減 率 (22 / 21)
		21 年 度	22 年 度	
資本的支出	建設改良費	12,846,222	9,156,758	△ 28.7
	企業債償還金	13,583,978	10,978,988	△ 19.2
	その他	155,916	125,158	△ 19.7
	計	26,586,116	20,260,904	△ 23.8
財 源 内 訳	内部資金	13,118,254	13,001,705	△ 0.9
	外部資金	13,418,177	7,236,678	△ 46.1
	うち	企業債	4,532,000	△ 43.5
		他会計出資金	930,446	△ 47.9
		他会計負担金	90,879	41.8
		他会計借入金		
		他会計補助金	180,881	△ 61.2
		調整項目		
	財源不足額	49,685	22,521	△ 54.7
	計	26,586,116	20,260,904	△ 23.8

（４）資金繰りの状況

流動比率（流動資産／流動負債）は1,208.4%と前年度（843.8%）より364.6ポイント増加している。〔第12表〕

第12表 資金繰りの状況

（単位：千円、％）

年 度	項 目	流 動 比 率	一 時 借 入 金 の 状 況	
			一 時 借 入 金	営業収益に対する割合
18年度		927.2		
19年度		770.0	25,000	0.1
20年度		708.3	20,000	0.0
21年度		843.8	20,000	0.0
22年度		1,208.4	33,000	0.1

2 交通事業

(1) 施設及び業務概要

交通事業は、青森市及び八戸市においてバス事業が行われている。一般乗合分の在籍車両は288両で、前年度（286両）に比べ2両増となっている。輸送人員は年間15,193千人、一日当たり41,624人で、前年度に比べ一日1,307人減となっている。〔第13表〕

第13表 経営規模

区 分		年 度	18 年 度	19 年 度	20 年 度	21 年 度	22 年 度
施 設	営 業 路 線 （ km ）		491.3	491.7	470.3	457.3	459.8
	運 転 系 統 路 線 （ 本 ）		306	313	311	284	289
	在 籍 車 両 （ 両 ）		316	315	304	286	288
	平 均 車 齢 （ 年 ）		13.5	13.3	14.0	14.6	14.7
業 務	年 間 走 行 キ ロ （ 千 km ）		8,964	8,875	8,397	8,274	7,998
	一 日 走 行 キ ロ （ 千 km ）		25	24	23	22	22
	年 間 輸 送 人 員 （ 千人 ）		18,201	17,448	16,369	15,670	15,193
	一 日 輸 送 人 員 （ 人 ）		49,866	47,672	44,847	42,931	41,624
	年 間 輸 送 収 益 （ 千円 ）		3,667,781	3,841,102	3,766,635	3,395,623	3,343,471
	一 日 輸 送 収 益 （ 千円 ）		10,049	10,495	10,320	9,303	9,160

（注）一般乗合分のみを記載した。

（２）収益的収支の状況

総収益対総費用比率は、98.2％で前年度（94.2％）に比べ4.0ポイント高くなっている。

不良債務額については10億52万6千円生じており、前年度の10億8,654万1千円に比べ8,601万5千円（7.9％）の減となっている。〔第14表〕

第14表 経営状況の推移

（単位：千円、％）

年 度 項 目		18 年 度	19 年 度	20 年 度	21 年 度	22 年 度	増 減 率 (22/21)
総 収 益		4,767,245	4,707,023	4,493,773	4,299,006	4,388,114	2.1
う ち 営 業 収 益 (A)		3,875,887	4,045,894	3,858,236	3,442,034	3,387,750	△ 1.6
総 費 用		5,088,492	4,850,518	4,531,605	4,565,467	4,466,458	△ 2.2
純 利 益		28,629	27,202	72,108	20,468	49,424	141.5
純 損 失 (B)		349,876	170,697	109,940	286,929	127,768	△ 55.5
累 積 欠 損 金 (C)		1,371,670	1,515,165	1,051,819	1,318,281	1,291,181	△ 2.1
不 良 債 務 額 (D)		2,050,736	2,013,159	1,255,899	1,086,541	1,000,526	△ 7.9
赤字額 等の営業 収益に対す る割合	(B) / (A)	9.0	4.2	2.8	8.3	3.8	
	(C) / (A)	35.4	37.4	27.3	38.3	38.1	
	(D) / (A)	52.9	49.8	32.6	31.6	29.5	
事 業 数 (E)		2	2	2	2	2	0.0
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 (F)		1	1	1	1	1	0.0
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 (G)		2	2	2	2	2	0.0
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 (H)		2	2	2	2	2	0.0
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 の 割 合 (F) / (E)		50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 の 割 合 (G) / (E)		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 の 割 合 (H) / (E)		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
総 収 益 対 総 費 用 比 率		93.7	97.0	99.2	94.2	98.2	

（３）資本的収支の状況

資本的収入は2億7,277万円で前年度1億2,923万9千円より1億4,353万1千円（111.1％）増加し、資本的支出については5億5,544万9千円と前年度2億4,776万7千円より3億768万2千円（124.2％）増となっている。〔第15表〕

第15表 資本的収支の状況

（単位：千円、％）

区 分 年 度 項 目		金 額		増 減 率 (22 / 21)
		21 年 度	22 年 度	
資本的支出	建設改良費	77,682	282,968	264.3
	企業債償還金	145,822	125,177	△ 14.2
	そ の 他	24,263	147,304	507.1
	計	247,767	555,449	124.2
財 源 内 訳	内 部 資 金	27,070	116,517	330.4
	外 部 資 金	129,239	272,770	111.1
	うち 建 設 改 良 の た め の 企 業 債 他 会 計 補 助 金 他 会 計 借 入 金	63,900	260,500	307.7
		46,235	1,900	△ 95.9
	財 源 不 足 額	91,458	166,162	81.7
	計	247,767	555,449	124.2

（４）資金繰りの状況

一時借入金は9億2,586万8千円で、前年度7億9,615万円より1億2,971万8千円（16.3％）増となっている。

また、流動比率（流動資産／流動負債）は28.9％で、前年度17.3％より11.6ポイント高くなっている。〔第16表〕

第16表 資金繰りの状況

（単位：千円、％）

項 目 年 度	流 動 比 率	一 時 借 入 金 の 状 況	
		一 時 借 入 金	営業収益に対する割合
18年度	4.2	1,625,734	40.2
19年度	4.3	1,666,871	43.2
20年度	14.5	1,026,624	26.6
21年度	17.3	796,150	23.1
22年度	28.9	925,868	27.3

3 病院事業

(1) 施設及び業務概要

平成22年度の病院数は26病院であり、その経営主体別の内訳は市が経営する病院が9病院、町が経営する病院が11病院、一部事務組合が経営する病院が6病院となっている。〔第17表〕

26病院全体での病床数は5,059床（一般病床4,340床、療養病床332床、結核病床0床、精神病床373床、感染症病床14床）であり、病床利用率は75.1%で前年度を1.2ポイント上回っている。

病床利用率を規模別に比較すると、500床以上及び200床以上300床未満の病院が80%を超えているが、100床以上200床未満の病院では70%以下となっている。

延べ患者数については、年間入院延べ患者数140万7千人、外来延べ患者数250万6千人、合計で391万3千人となっている。〔第18・19表〕

第17表 施設及び概要

区 分 病院規模	自治体病院数	経 営 主 体		
		市	町	一部事務組合
500 床 以 上	3	2		1
300 床 以 上 500 床 未 満	2	2		
200 床 以 上 300 床 未 満	3	3		
100 床 以 上 200 床 未 満	9	1	4	4
100 床 未 満	9	1	7	1
計	26	9	11	6

第18表 患者数・病院数の推移

年 度 項 目	18 年 度	19 年 度	20 年 度	21 年 度	22 年 度
入院延患者数（千人）	1,544	1,459	1,429	1,397	1,407
外来延患者数（千人）	3,168	2,945	2,670	2,574	2,506
病 床 数（床）	5,713	5,543	5,221	5,148	5,059
病 床 利 用 率（％）	73.5	72.5	73.7	73.9	75.1
外来・入院比率（％）	205.2	201.9	186.8	184.3	178.1

第19表 病床の利用率

規 模 年 度	500 床 以 上	300 床 以 上 500 床 未 満	200 床 以 上 300 床 未 満	100 床 以 上 200 床 未 満	100 床 未 満	計
18年度	86.9	69.9	78.5	66.9	66.3	73.5
19年度	86.2	71.2	75.1	64.7	65.1	72.5
20年度	86.1	74.1	76.2	59.5	77.1	73.7
21年度	83.4	67.9	74.7	62.8	77.5	73.9
22年度	82.4	71.7	82.8	64.0	73.1	75.1

(2) 収益的収支の状況

単年度収支では26施設中14施設で20億9,378万3千円の純利益を生じたが、12施設が合わせて23億364万5千円の純損失を生じ、累積欠損金は572億4,577万4千円で、前年度571億3,001万7千円から1億1,575万7千円（0.2%）増となっている。

不良債務額は85億5,152万6千円で、前年度116億5,053万6千円から30億9,901万円（26.6%）の減となっている。

[第20表]

第20表 経営状況の推移

(単位：千円、%)

年 度 項 目		18 年 度	19 年 度	20 年 度	21 年 度	22 年 度	増 減 率 (22/21)
総 収 益		87,057,382	86,645,927	85,555,566	87,222,090	91,461,625	4.9
う ち 医 業 収 益 (A)		78,832,991	77,917,871	76,487,784	77,841,918	80,670,273	3.6
総 費 用		92,092,654	91,529,918	88,610,762	89,160,104	91,671,487	2.8
純 利 益		318,327	596,840	786,657	939,521	2,093,783	122.9
純 損 失 (B)		5,353,599	5,480,831	3,841,853	2,877,535	2,303,645	△ 19.9
累 積 欠 損 金 (C)		57,993,812	62,361,422	65,474,969	57,130,017	57,245,774	0.2
不 良 債 務 額 (D)		15,657,415	17,042,827	11,437,521	11,650,536	8,551,526	△ 26.6
赤字額 等の医 業収益 に対する割合	(B) / (A)	6.8	7.0	5.0	3.7	2.9	
	(C) / (A)	73.6	80.0	85.6	73.4	71.0	
	(D) / (A)	19.9	21.9	15.0	15.0	10.6	
施 設 数 (E)		30	29	27	26	26	0.0
純 損 失 を 生 じ た 施 設 数 (F)		22	19	18	15	12	△ 20.0
累 積 欠 損 金 を 有 す る 施 設 数 (G)		25	24	25	23	24	4.3
不 良 債 務 を 有 す る 施 設 数 (H)		19	20	17	15	12	△ 20.0
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 の 割 合 (F) / (E)		73.3	65.5	66.7	57.7	46.2	
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 の 割 合 (G) / (E)		83.3	82.8	92.6	88.5	92.3	
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 の 割 合 (H) / (E)		63.3	69.0	63.0	57.7	46.2	
総 収 益 対 総 費 用 比 率		94.5	94.7	96.6	97.8	99.8	

（３）資本的収支の状況

資本的収入は126億3026万1千円（前年度144億970万円）で、対前年度比12.3%の減、資本的支出も139億8,829万7千円（前年度180億3,052万円）で、対前年度比22.4%の減となっている。

財源内訳は、内部資金等補てん財源が前年度より20.1%の減、外部資金は企業債が9.7%の減、他会計出資金等の一般会計繰入金は33.3%の増となっている。〔第21表〕

第21表 資本的収支の状況

（単位：千円、％）

区 分 項 目		金 額		増 減 率 (22 / 21)
		21 年 度	22 年 度	
資本的支出	建設改良費	11,517,964	5,142,482	△ 55.4
	企業債償還金	6,358,828	8,832,425	38.9
	その他	153,728	13,390	△ 91.3
	計	18,030,520	13,988,297	△ 22.4
財源内訳	内部資金	3,079,136	2,459,930	△ 20.1
	外部資金	14,409,700	12,630,261	△ 12.3
	うち	企業債	5,813,400	△ 9.7
		他会計出資金	2,696,413	50.3
		他会計負担金	1,505,905	△ 6.2
		他会計借入金	150,000	176.3
		他会計補助金	170,697	△ 13.0
		調整項目		
	財源不足額	541,684	105,475	△ 80.5
	計	18,030,520	15,195,666	△ 15.7

（４）資金繰りの状況

流動比率（流動資産／流動負債）は89.4%と前年度（77.3%）より12.1ポイント高くなっている。

第22表 資金繰りの状況

（単位：千円、％）

年 度	項 目	流 動 比 率	一 時 借 入 金 の 状 況	
			一 時 借 入 金	医業収益に対する割合
18年度		68.0	26,992,419	34.2
19年度		62.1	29,165,468	37.4
20年度		75.5	24,316,526	31.8
21年度		77.3	23,419,555	30.1
22年度		89.4	19,602,007	24.3